DRAPER

デュラフォールド組立式スクリーン

DURAFOLD

取扱説明書

■　対応サイズ

- 100インチ
- 120インチ
- 150インチ
- 180インチ
- 210インチ
- 240インチ

AVC 株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

⚠ ご注意

■ 組み立てる前には本取扱説明書をよくお読みになり、組立手順の流れをつかんでから行ってください。
■ 組立作業は手指のけがを防ぐため、滑りにくい手袋をはめて2名以上で行ってください。
■ 組立作業は人が通らない場所を選び、周辺に充分気をつけて行ってください。
■ スタンドを設置する場合は、スタンドが転倒することのないように平らな所で行ってください。
■ スクリーンフレームやスタンドは、立てかけたまま放置しないでください。転倒する危険があります。
■ 本製品は屋内用です。屋外での組立及び設置はしないでください。
■ キズやほこりの付着を避けるために養生シートなどを敷設して作業してください。
■ フレームにぶら下がったり、スクリーン生地にものを描いたりしないでください。

組立前に

● 張り込み作業は、床よりも机や台などの上で行う方が張り込みやすくなります。
● 冬季は、あらかじめ暖かい部屋に置いておく方が比較的張り込みやすくなります。

◆スクリーン組立方法

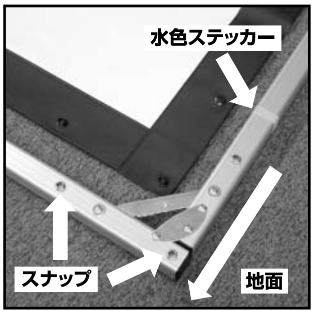
Ⅰ キャリングケースから各パーツを取り出します

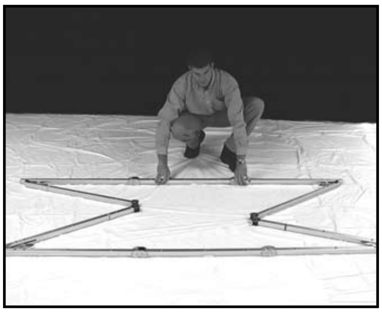
生地収納袋、スクリーンフレーム、スタンド、ネジ(蝶ネジ又はクランクネジ)袋がおさめられています。
（初出荷時はキャリングケースとスクリーンの別梱包で出荷します）

Ⅱ スクリーンフレームを組み立てます

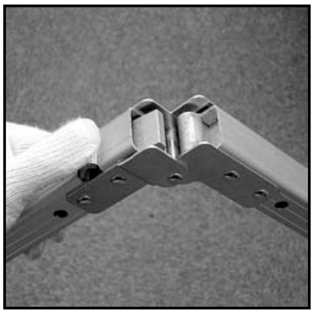
①スクリーンフレームを広げ、スナップのある側を表にして床または机上に置きます。
（床の場合は生地へのキズやホコリの付着を避けるために養生シートなどを敷設して作業してください）

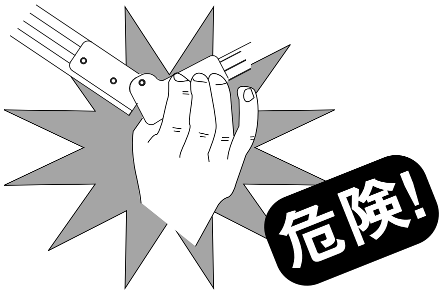
②フレームの上下はフレームに貼ってある水色ステッカーが下（地面側）です。



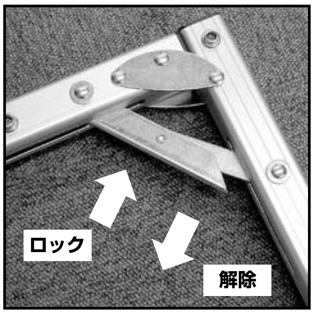


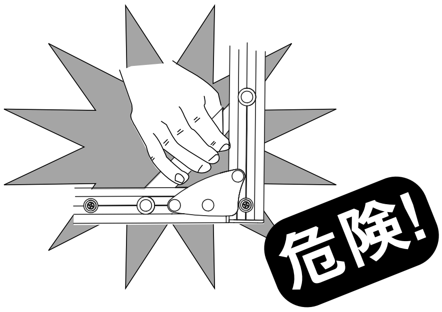
③スクリーンフレームは、すべてヒンジでつながっています。
ヒンジ部分はまっすぐにするだけでロックがかかりますが、指をはさまないように十分注意してください。





④スクリーンフレームのコーナー部分をロックします。
ロックをする時は指をはさまないように十分注意してください。

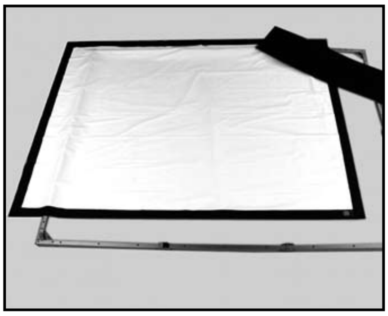


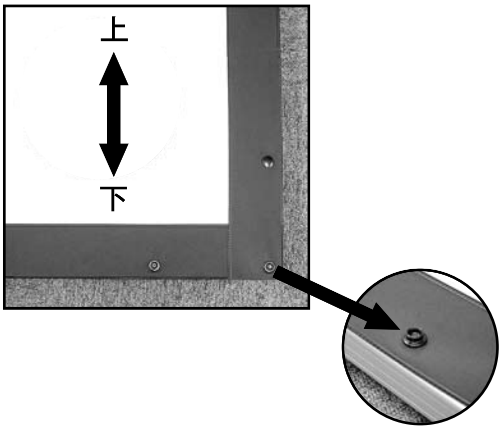


Ⅲ スクリーン生地を広げフレームにスナップを固定します

⚠ 危険	スクリーン生地はフレームのすべてのロックがかかっていることをよく確認してから張り込んでください。スクリーン生地の張力でフレームが折り込まれてしまうことがあり、大変危険です。

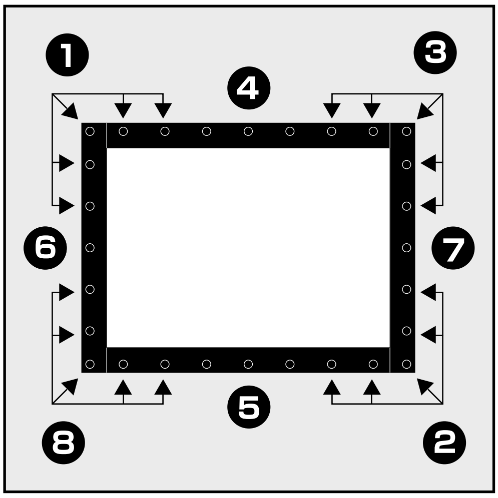
①生地を広げフレームと重ねます。
　スクリーン生地の上下は生地の長辺に背の高いスナップがついている方が下（地面側）です。





②スナップを固定する順序は四隅のコーナー部分の3ヶ所（①〜③）を最初に留め、
　次にフレームの中央部分（④〜⑦）を留めるようにします。
　最後に4ヶ所目のコーナー部分（⑧）を留めます。

手順①〜⑧

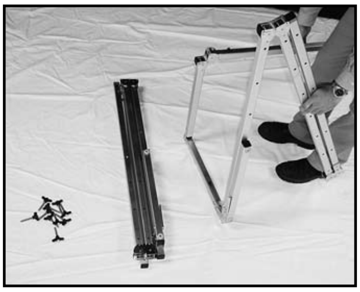


冬季は、あらかじめ生地を暖かい部屋に
置いておくと比較的張り込みやすくなります。
（P6を参照）

Ⅳ スクリーンスタンドを組み立てます

①スクリーンフレームと同様の組み立て手順です。
スタンドとスクリーンフレームは付属のネジ（蝶ネジまたはクランクネジ）で固定します。
カラーラベルの色と位置に合わせると「標準的な高さ」になります。

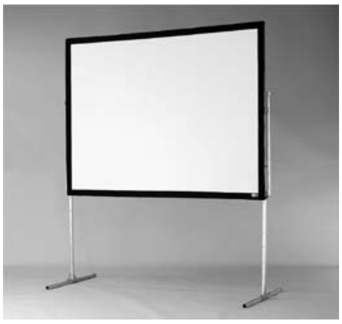
「標準的な高さ」
- ・100〜210インチの場合、スクリーンフレーム下端から地面まで約128cm、スクリーンは約15cm毎ピッチで「標準的な高さ」から上に3段、下に7段高さ設定が可能です。
- ･240インチの場合スクリーンフレーム下端から地面まで約97cm、スクリーンは約15cm毎ピッチで「標準的な高さ」から上に2段、下に6段の高さ設定が可能です。



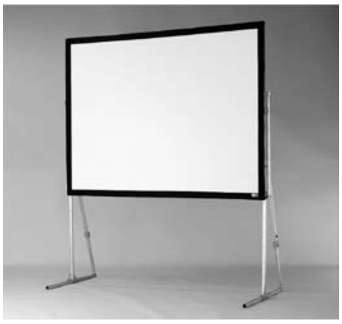
②セットされたスクリーンとスタンドを立ち上げます。

> ⚠ **警告**
> スクリーンを高い位置に上げて設置される場合は、必要に応じてフレームのワイヤー固定やおもりの設置を検討するなど、万一の倒壊や不慮の事故に配慮した設置方法をお願いいたします。

※180〜240インチの各モデルに付属のスタンドには背面の補強バーが追加され、補強バーの調整でスクリーンの傾きを調整することができます。



100/120/150インチ用スタンド



180/210/240インチ用スタンド

◆スクリーンを収納するには

Ⅰ スタンドを倒し、スクリーン生地をはずします

①フレームからスナップをはずし、ホコリや汚れを避けるために
スクリーンの表面が内側になるように折りたたみ、
収納袋にていねいに収めます。

Ⅱ スタンドのネジ（蝶ネジまたはクランクネジ）をはずしてスタンドとフレームを折りたたみます

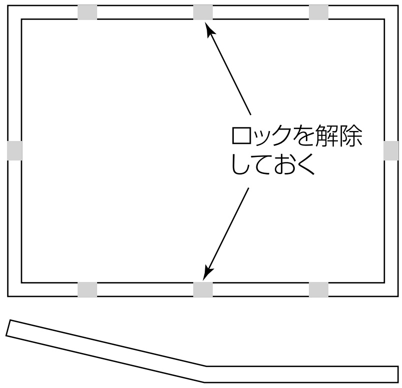
①ヒンジロック部分を押してロックをはずし、折りたたみます。
コーナー部分は引っ張ってロックをゆるめます。
付属のネジは紛失しないようネジ袋に入れ、キャリングケースに収納します。

Ⅲ キャリングケースに収納します

①キャリングケースにはフレームとスタンドを先に収納し、スクリーン生地
収納袋をその上にのせます。

◆冬季ご使用時、生地の収縮により張りにくい場合 下記方法にて生地の張り込みをしてください

①スクリーンフレームは、すべてヒンジでつながっています。
ヒンジ部分はまっすぐにするだけでロックがかかりますが、
その際谷側のロックは解除しておきます。



■ヒンジ部分

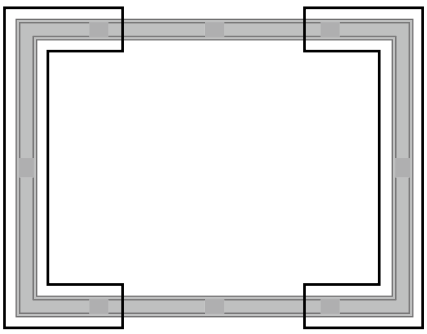
※スクリーンサイズによりヒンジ部分が
中央にない場合があります。

②スクリーン生地を広げフレームと重ねます。
スクリーン生地の上下は生地の長辺に背の高いスナップが
ついている方が下（地面側）です。

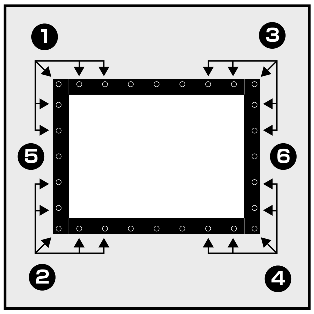
冬季は、あらかじめ生地を暖かい部屋に
置いておくと比較的張り込みやすくなります。

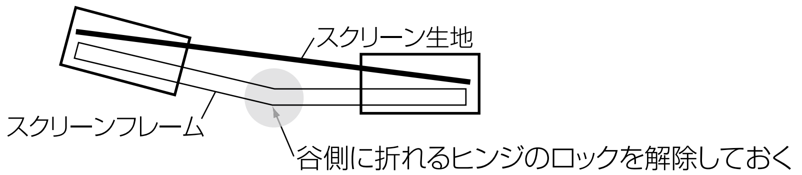
③先に下図で囲まれた範囲のスナップを固定します。
短辺のスナップを①〜⑥の順番にすべて留めてください。

⚠ 注意	スクリーン生地は,力まかせに張るとスナップ部や接合部付近の生地が破れてしまい補修が困難ですのでご注意ください。



手順①〜⑥

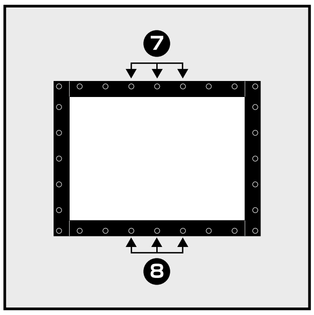




④両方の短辺を留めましたら、ゆっくりとスクリーンフレームを伸ばし
谷側に折れているヒンジ部にロックをかけます。
最後にスナップ⑦〜⑧の順番にすべて留めてください。

⚠ 注意	この時、スクリーンフレームを急激に伸ばしますとスナップや生地が破損する可能性がありますので十分ご注意ください。

手順⑦〜⑧



記載された内容は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 発 売 元

AVC 株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

● システム販売事業部　〒104-0054　東京都中央区勝どき1-7-3（勝どきサンスクエア9F）
TEL 03-3532-4601　FAX 03-3532-4623

● イベント映像事業部　〒104-0054　東京都中央区勝どき1-7-3（勝どきサンスクエア9F）
TEL 03-3532-3641　FAX 03-3532-3645

● 名 古 屋 支 店　〒460-0012　愛知県名古屋市中区千代田3-31-25
TEL 052-322-5791　FAX 052-322-5843

● 大 阪 支 店　〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-18-25
TEL 06-6836-7827　FAX 06-6310-6144

● 本 社　〒104-0054　東京都中央区勝どき1-7-3（勝どきサンスクエア9F）

http://www.avc.co.jp/

2011 年 3 月作成